



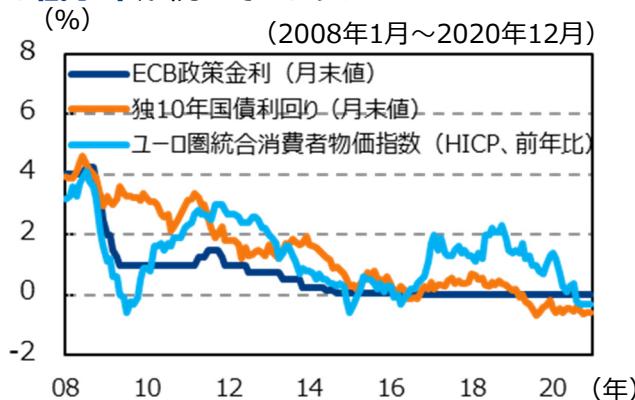
## 欧洲マーケットビュー



- ヨーロッパ圏では2020年10月以降新型コロナウイルスの感染再拡大問題に加え、12月には英国の変異ウイルス問題などから制限措置が一段と強化され、**実質GDPは2020年10-12月期に再びマイナス成長に転じると見込まれます。**
- ただし、**拡張的な財政政策や緩和的な金融政策が支えとなり、景気は2020年3・4月のように大幅に落ち込む可能性は低いと考えられます。**

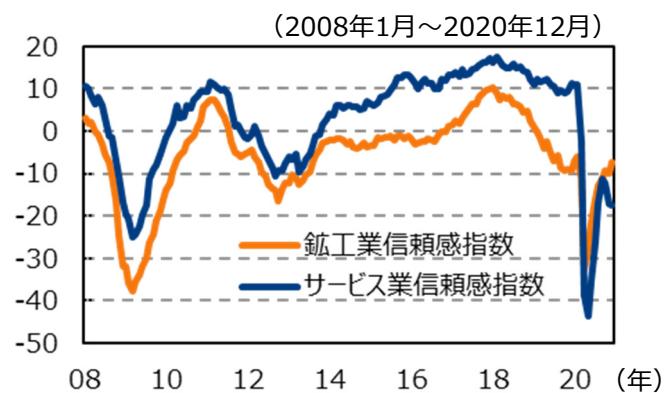
### 金利とインフレ率

ヨーロッパ圏の12月のHICPは前年比-0.3%でした。**金融緩和の長期化が意識され長期金利は低水準が続いています。**



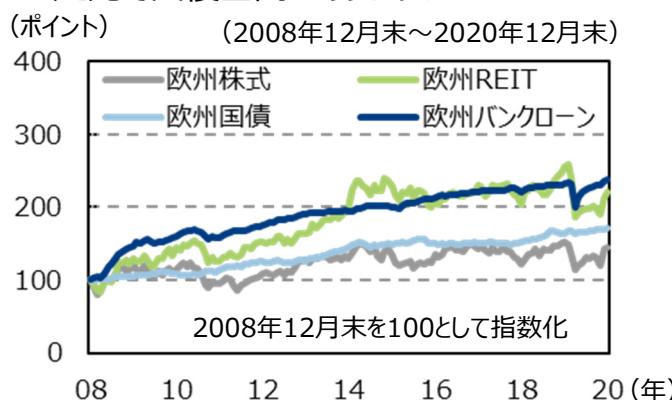
### 企業景況感

ヨーロッパ圏の企業景況感は、足元では**サービス業のマイナス幅が再び拡大しています。**



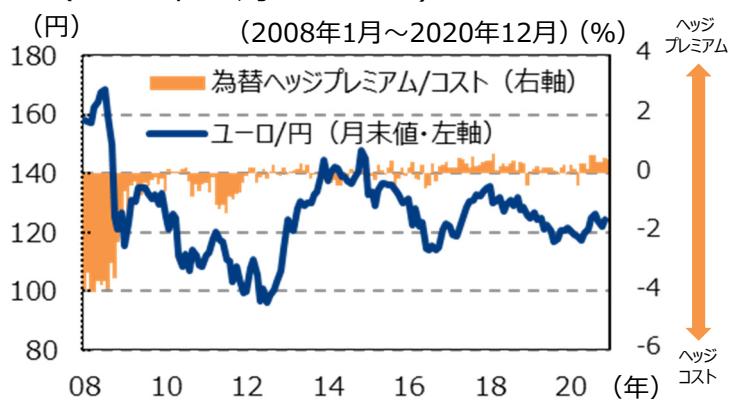
### 欧洲各資産の推移

欧洲株式等のリスク資産は**新型コロナウイルスのワクチンの早期実用化への期待**などを背景に足元で回復基調にあります。



### ユーロ/円と為替ヘッジプレミアム/コスト

日本円の金利がヨーロッパよりも高い状況から、**ユーロ/円はヘッジプレミアムが生じています。**  
(2020年12月 : 0.46%)



(注) 為替ヘッジプレミアム/コストは直物為替レートと期日1ヶ月後の為替予約レートとの価格差（月間平均値）から簡便法により算出。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※使用したインデックス（いずれもヨーロッパベース）

ヨーロッパ株式：ユーロストックス50指数、ヨーロッパREIT：FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index、ヨーロッパ国債：FTSEヨーロッパ国債インデックス、ヨーロッパバンクローン：クレディ・スイス・ウェスタン・ヨーロピアン・レバレッジド・ローン・インデックス

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。



三井住友DSアセットマネジメント

作成基準日： 2021年1月8日